

第97回都市対抗野球

近畿2次予選 マツゲン、及ばず敗退 大和高田に4-7 /和歌山

地域 | 和歌山 | 関西

毎日新聞 | 2026/6/17 地方版 | 有料記事 | 543文字

メモを追加する



【大和高田クラブ-マツゲン箕島】五回裏マツゲン箕島1死三塁、杉浦の極飛で三塁走者の里（中央）が生還し、次打者の吉村（左端）とタッチして喜ぶ=京都市のわかさスタジアム京都で、矢倉健次撮影

第97回都市対抗野球大会近畿地区2次予選（日本野球連盟近畿地区連盟、毎日新聞社主催）は16日、京都市のわかさスタジアム京都で2試合があった。第4代表決定トーナメント4回戦は、大和高田クラブ（奈良県大和高田市）がマツゲン箕島（有田市）に7-4で勝ち、5回戦へ。マツゲン箕島は予選敗退が決まった。【中田博維、矢倉健次、栗林創造】

大和高田クラブは七回、2死一、三塁から浅野、岡の連続適時長短打で3点を奪い逆転。4番手の西が3回を無失点にしのいで逃げ切った。マツゲン箕島は三回、竹中の2点適時二塁打などで一度は逆転したが、6人の継投も実らなかった。

勝てた試合、残念

〇…2次予選で初めて5試合を戦ったマツゲン箕島は、クラブチーム同士のライバル対決に敗れて力尽きた。三回に逆転となる2点適時二塁打を放った竹中夢翔は「チェンジアップをうまく拾って外野まで持っていった。でも、その後は『あと一本』の場面で抑えられてしまった。接戦はいつものことで、勝てた試合だった」と悔しさをにじませた。大和高田クラブには直近、2次予選と全日本クラブ選手権で公式戦3連勝中だった。西川忠宏監督は「今回は立場を逆転されてしまったが、全日本クラブ選手権で雪辱し、優勝してまた日本選手権に出たい」と先を見据えていた。